

HIROSHIMA UNIVERSITY BioMed News

Hiroshima University Graduate School of Biomedical and Health Sciences

目次

Preface 巻頭言

「医系科学研究科長を拝命して」

岡村 仁 1

Greetings 副研究科長ご挨拶

「充実した大学院教育を目指して」…………… 中野由紀子 2

「学際力の力で未来を拓く―新たな連携と研究環境づくりに向けて―」…………… 古武弥一郎 2

「医系科学研究科の特色を活かした教育・研究を」… 濱田 泰伸 2

「国際化推進の取組を新たな活動のチャンスに」… 吾郷由希夫 2

Greetings ご挨拶

「就任のご挨拶」…………… 三井 伸二 3

「就任のご挨拶」…………… 森脇 健太 3

「就任のご挨拶」…………… 岡田 剛 4

「就任のご挨拶」…………… 田口 和明 4

「就任のご挨拶」…………… 合田 光寛 5

「就任のご挨拶」…………… 山田 崇史 5

「就任のご挨拶」…………… 石井 大典 6

「就任のご挨拶」…………… 近添 淳一 6

「社会実装に関わる医工連携に貢献します。宜しくお願いします(就任のご挨拶)！」…………… 花之内健仁 7

My Motto 座右の銘

「課題を先延ばしにしない」…………… 武島 幸男 8

「実るほど頭を垂れる稲穂かな」…………… 津賀 一弘 8

Excellent Paper すぐれた論文

「初期波形心静止の院外心停止に対する蘇生処置と転帰」…………… 志馬 伸朗・石井 潤貴 9

Research Frontline 研究最前線

「膜蛋白質のセンサー機構解明と機能再構成・新機能創出への挑戦」…………… 藤原祐一郎 10

「環境中の化学物質毒性と健康リスク」…………… 古武弥一郎 11

編集後記…………… 丸橋 達也 12

医系科学研究科長を拝命して

大学院医系科学研究科長 岡村 仁



この度、丸山 博文研究科長の後任として、広島大学 大学院医系科学研究科長を拝命しました岡村 仁と申します。就任にあたっての抱負について概略を述べ、ご挨拶に代えさせていただきますと思います。

(1) 医系科学研究科の中期目標・中期計画

「第4期中期目標期間における広島大学のあるべき姿」の実現に向けて、広島大学が重点的に取り組む事項として2023年5月「President 5 Initiatives for Peace Sciences」が策定されました。その中の医系科学研究科が関与できる2つの事項について、「ワクチン、医薬品開発、再生医療、細胞治療を通じた地球規模の健康安全保障への貢献」ではGMP (Good Manufacturing Practice) 教育を通じた社会人教育、「平和のための総合的な放射線災害管理」ではフェニックスリーダー育成プログラムへの参画によるグローバルリーダーの育成、放射線影響研究所との協力関係の強化による研究・医療の推進において寄与していきたいと思っています。

(2) 研究科の将来構想

2023年11月に策定された「霞キャンパスの将来構想」において、医系科学研究科では「多分野融合の利点を活かし、国際化を進める」との基本方針が掲げられましたので、この方針に基づき、教育、研究、国際化の推進を図っていきます。教育面では、一層の授業の英語化・オンライン化を進め、留学生や社会人大学院生の増加を図ります。研究面では、霞Lab Secretaryの登録件数の増加や研究資金公募情報の掲載を拡充し、共同研究・研究資金獲得のサポートを推進します。さらに、疾患バイオマテリアル・レポジトリシステムの構築を進め、疾患情報と紐付けたバイオバンクとして利用可能となることを目指します。国際化の推進に関しては、海外大学との部局間協定の締結を推進し、交流の活性化を図ることで国際共著論文の増加を目指します。

(3) 研究科の特色ある教育・研究

教育に関しては、本研究科の特色ある取り組みである遺伝カウンセラー養成コース、死因究明専門家養成コース、がん専門医養成コース、ゲノム編集先端人材育成プログラムメディカルコースにおける継続的な学生の募集及び人材の育成を進めていきます。さらに、2024年8月に採択されました文部科学省の「高度医療人材養成拠点形成事業―タイプA」に、研究科としても積極的に貢献したいと考えています。研究に関しては、現在活動している5つの学際研究推進部会の活動のさらなる活性化を図ります。教授だけでなく、中堅・若手・大学院生にも参加を促すよう取り組み、分野を超えた融合研究をさらに推し進め、研究室間の関係強化を図り、協働的研究への発展や大型資金の獲得に努めていきます。併せて、研究科内にとどまらず、キャンパス間での連携強化も図りたいと思います。

私は、医系科学研究科が発足した当初から副研究科長として、研究科の発展に関わらせていただきました。その経験を活かし、これまでの歴史を引き継ぎ「100年後にも世界で光り輝く大学」へ向けて、その一翼を担う医系科学研究科として貢献すべく尽力してまいりたいと思います。ただ、至らない点も多くご迷惑をおかけすることもあると思いますので、ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



広島大学